

2017年3月期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<http://www.transgenic.co.jp>

2017年5月24日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I.2017年3月期 連結決算概要

II.2018年3月期 連結業績予想

III.事業トピックス・他

IV.研究開発状況



I .2017年3月期 連結決算概要

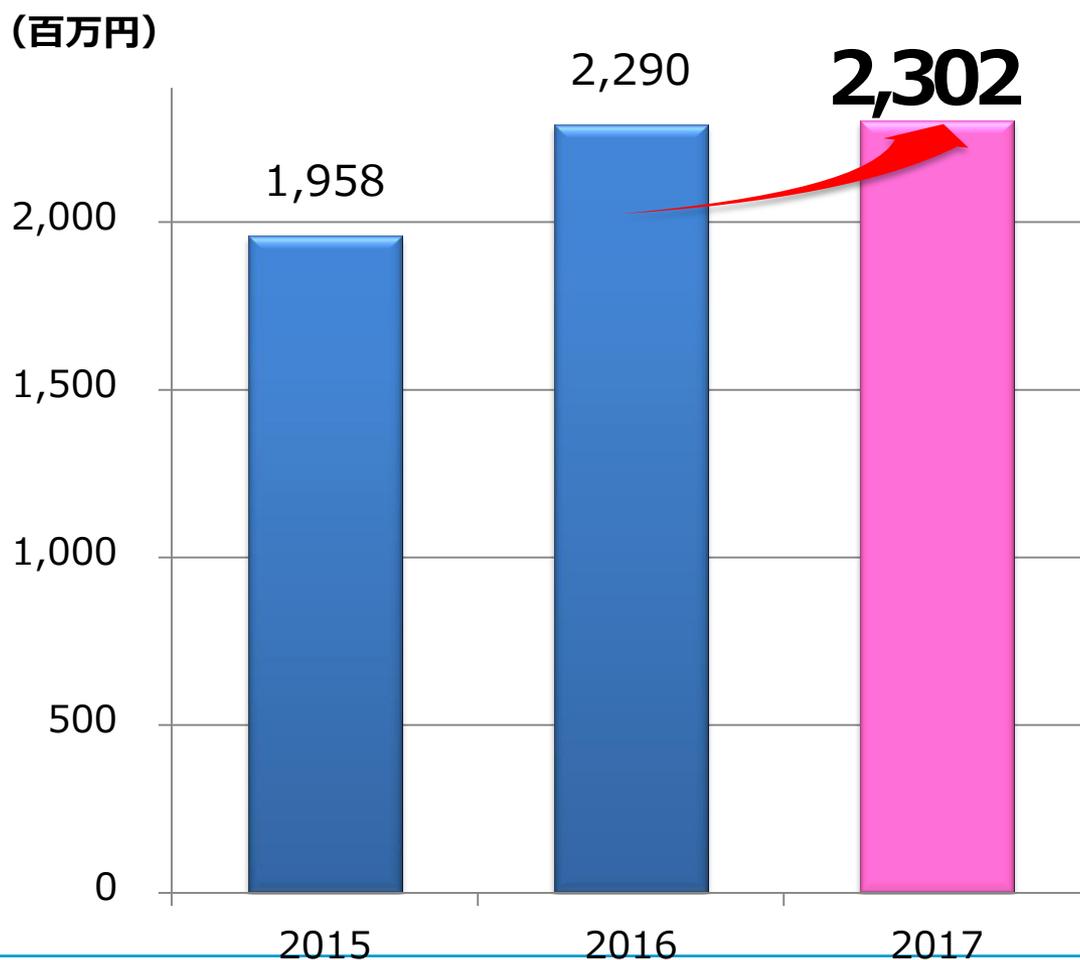
2017年3月期連結決算：ハイライト

売上高微増（前期比0.6%増）ながら、営業・経常・最終損益は大幅に拡大

- 利益率が高いジェノミクス事業・CRO事業好調により営業利益は大幅拡大
- 「のれんの一時償却」により持分法損失が拡大するも経常利益も大幅拡大
- 黒字体質確立による回収可能繰延税金資産増加により最終利益も大幅拡大

単位：千円	2016年3月期	2017年3月期	増減額
売上高	2,290,287	2,302,908	12,621
売上原価	1,617,664	1,553,971	▲63,693
売上総利益	672,622	748,937	76,314
販管費 (研究開発費)	622,209 (51,560)	594,989 (48,015)	▲27,220 (▲3,545)
営業利益	50,413	153,948	103,535
経常利益	18,959	88,272	69,313
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,587	80,694	66,107

連結売上高 過去3期間推移

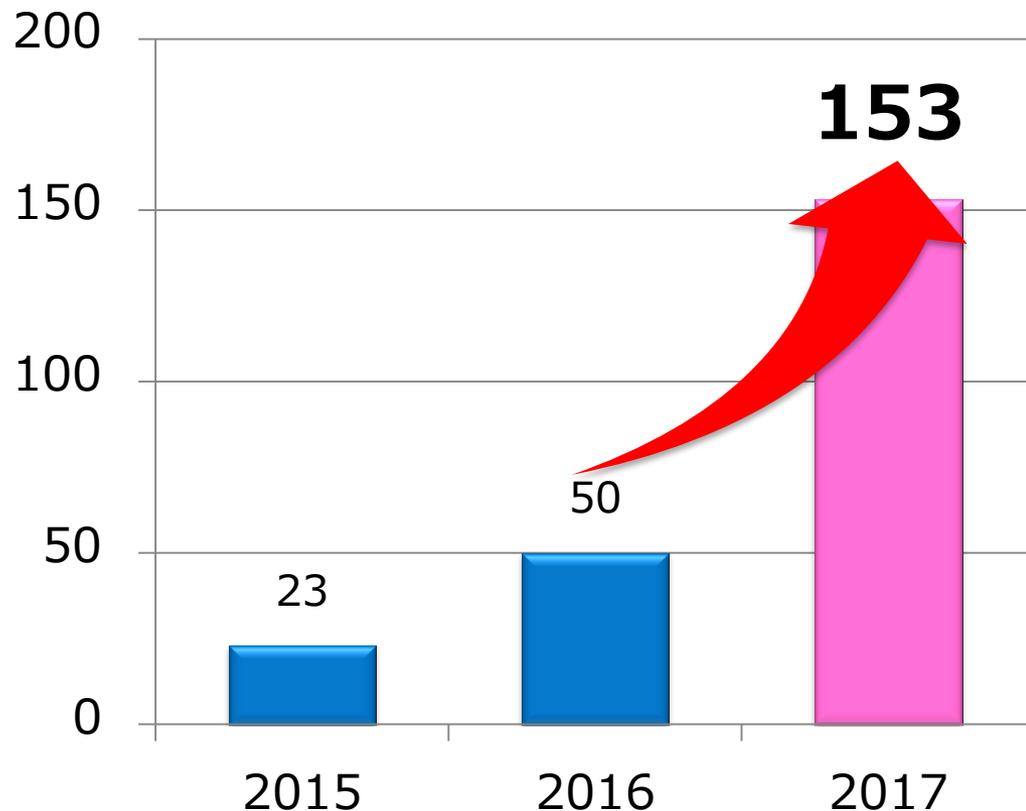


連結売上高
対前期比
0.6%増

微増ながらも過去最
高売上高を更新

連結営業利益 過去3期間推移

(百万円)

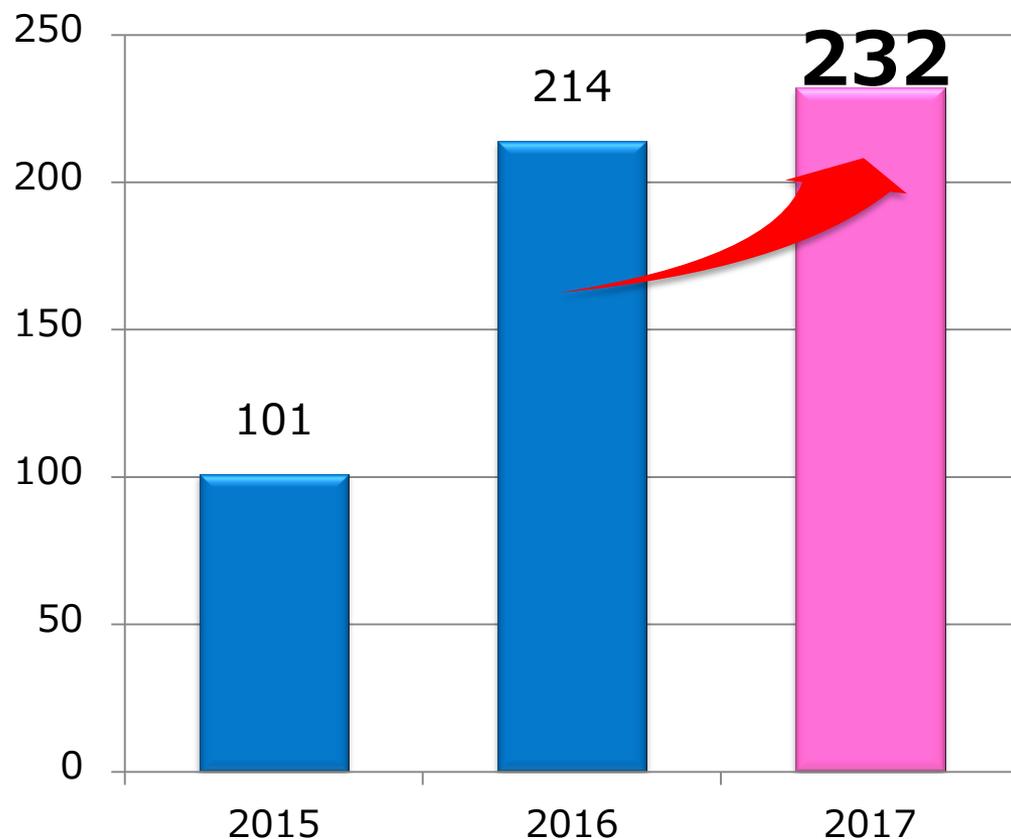


連結営業利益
対前期比
205.4%増

高収益事業への売上
構成シフトにより
収益力は着実に拡大

連結営業Cash・flow 過去3期間推移

(百万円)

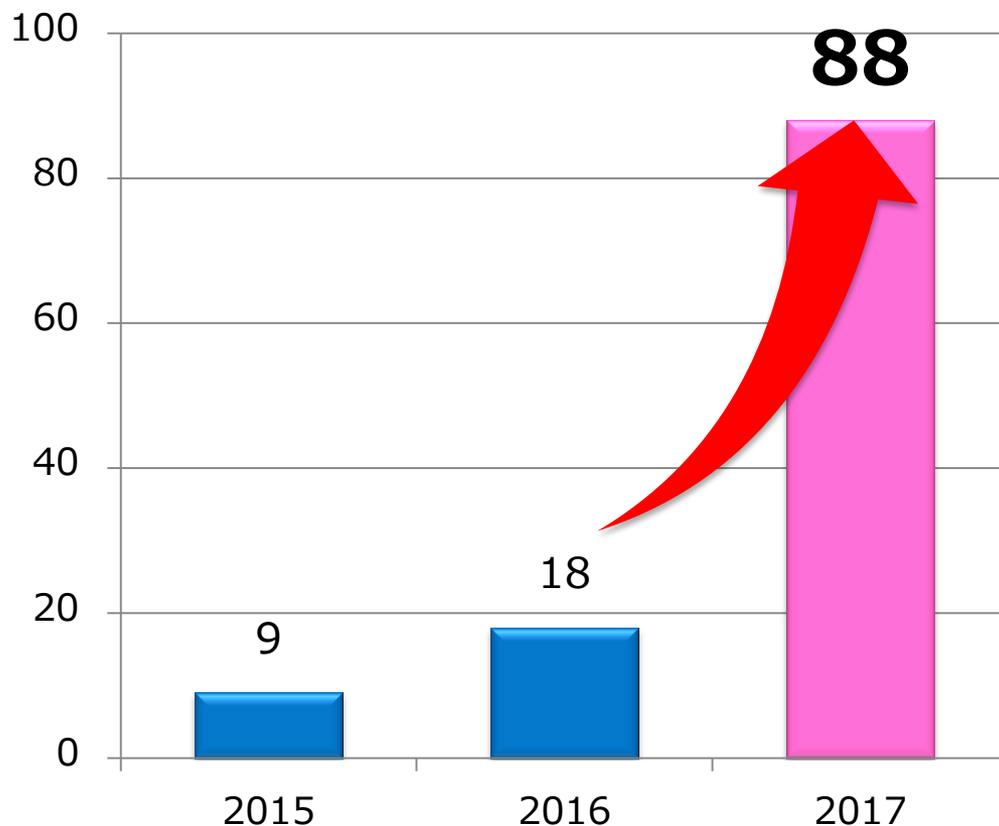


**連結営業CF
対前期比
8.6%増**

**営業利益同様、営業
CFも着実に拡大**

連結経常利益 過去3期間推移

(百万円)



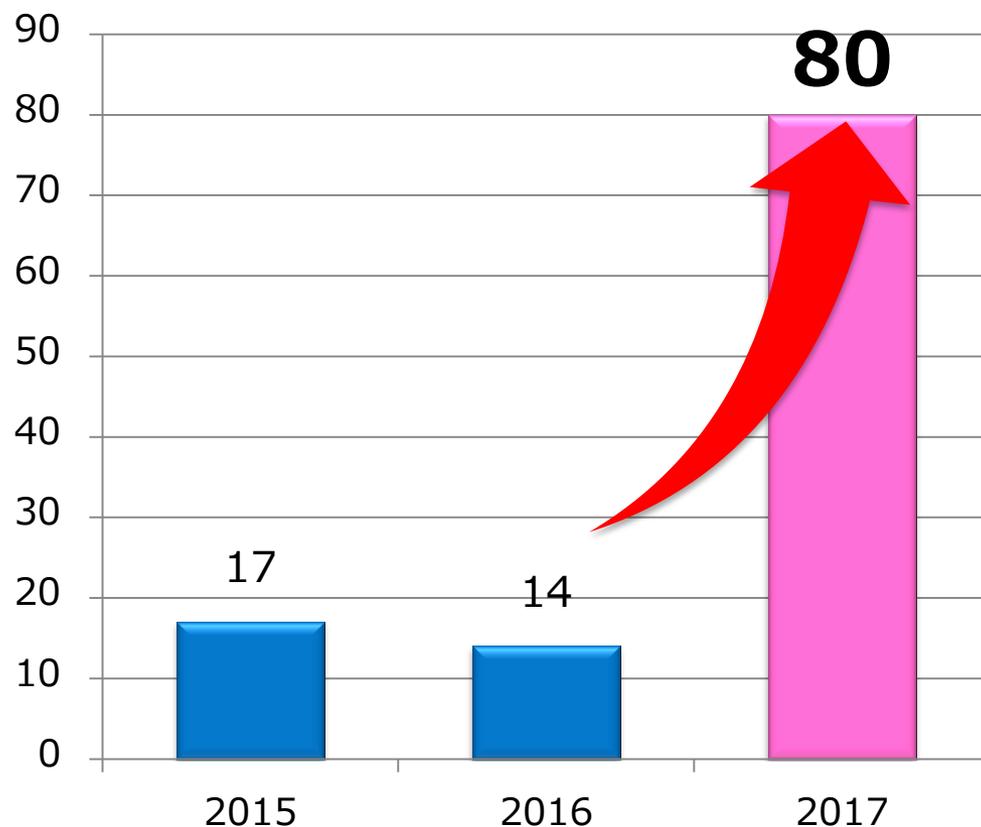
連結経常利益
対前期比
365.6%増

「持分法による投資
損失」61百万^(注)を
吸収し大幅拡大

(注) うち27百万は「のれんの一時償却」

連結当期純利益 過去3期間推移

(百万円)



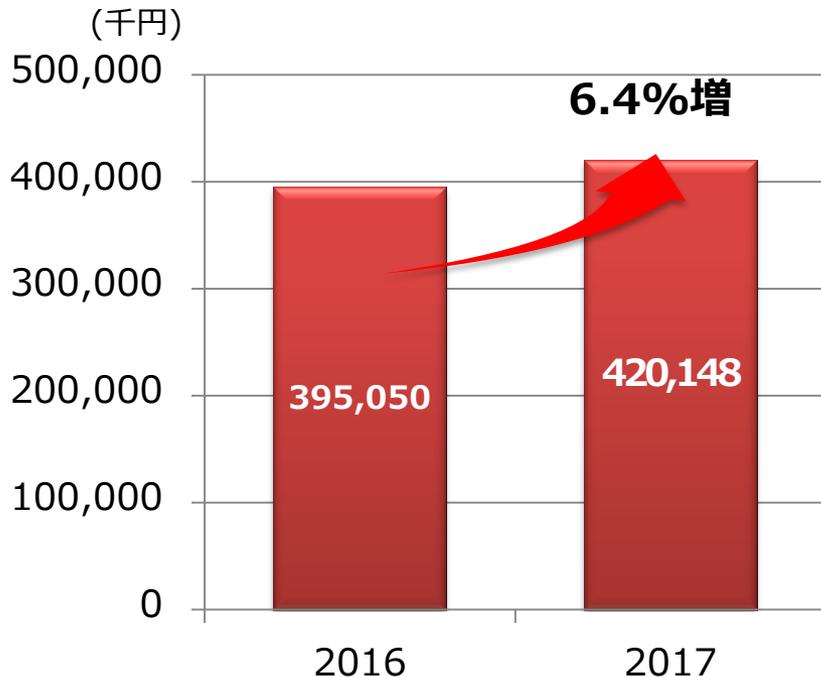
連結当期純利益
対前期比
453.2%増

税引前利益拡大に応じ
当期純利益も拡大

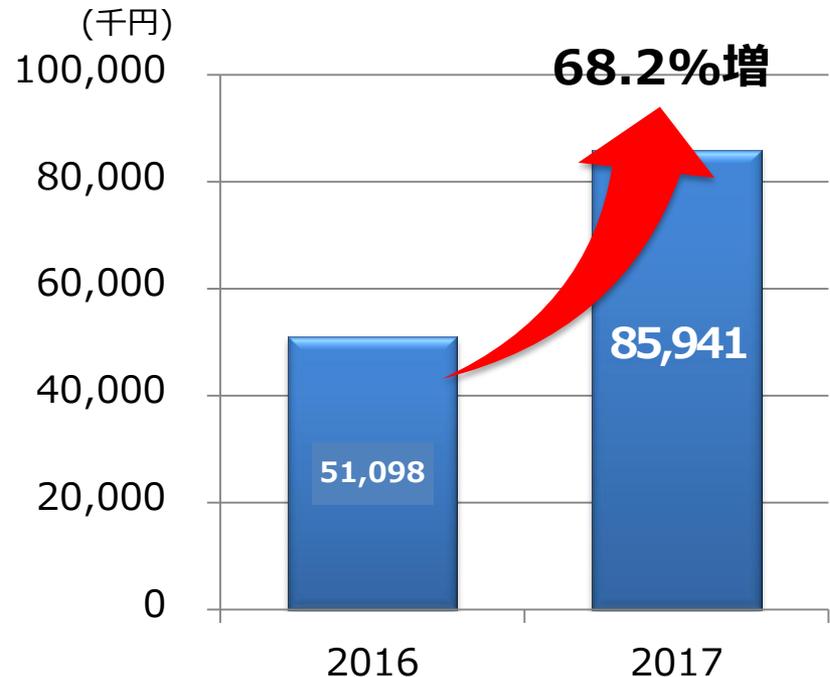
ジェノミクス事業

- ▶ ゲノム編集技術（CRISPR/Cas9）浸透による需要拡大が売上高増加を創出
- ▶ 売上高増の一方で技術習熟、事業部運営効率化により営業費用が減少した結果、営業利益は大幅増加

売上高



営業利益

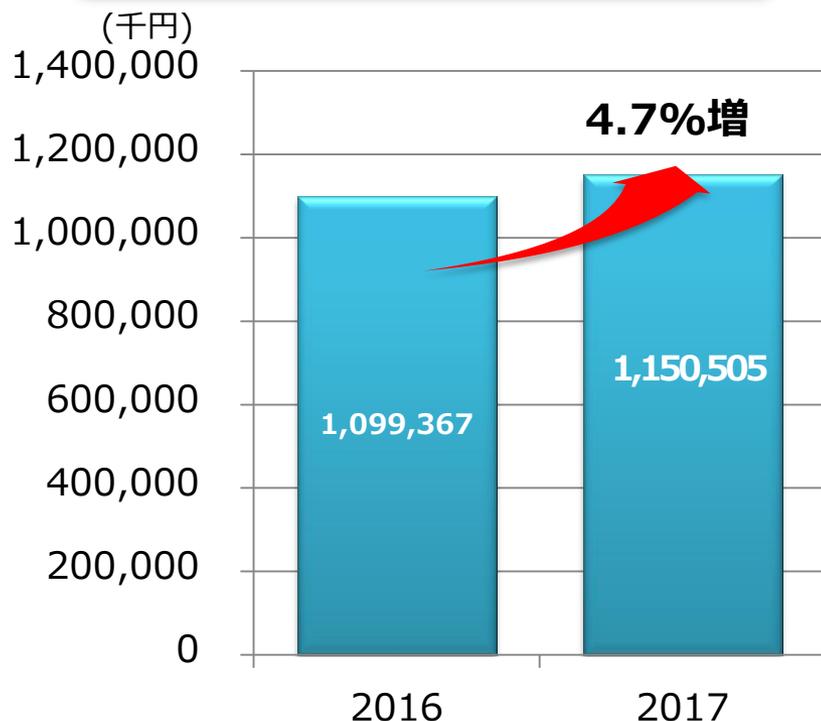


セグメント別業績概要：CRO事業

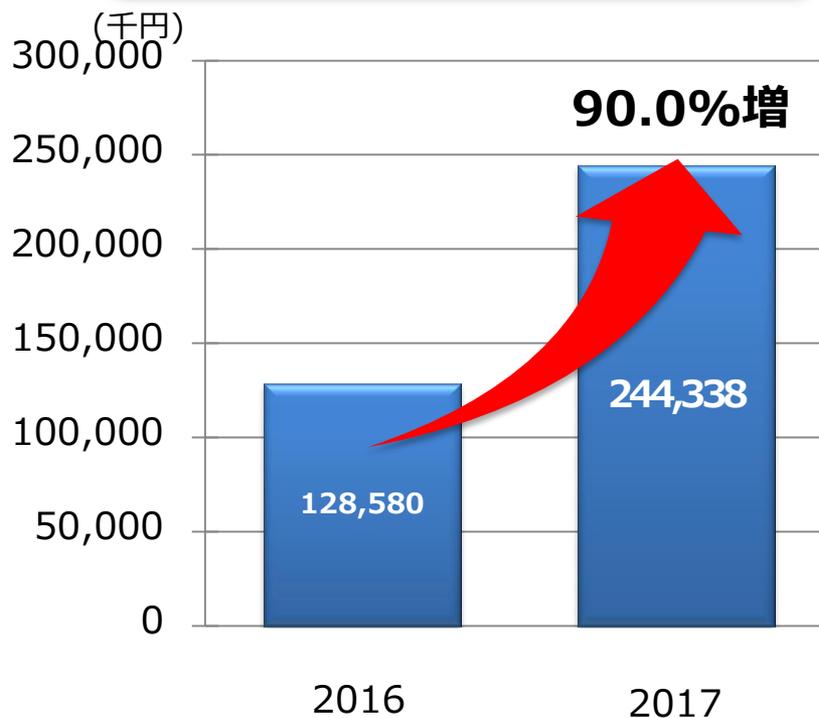
CRO事業

- 売上高は着実に増収を達成（前期は一時的な実験動物販売取引1.5億あり）
- 営業利益は利益率の高い非臨床試験サービス売上拡大により大幅増益を達成

売上高



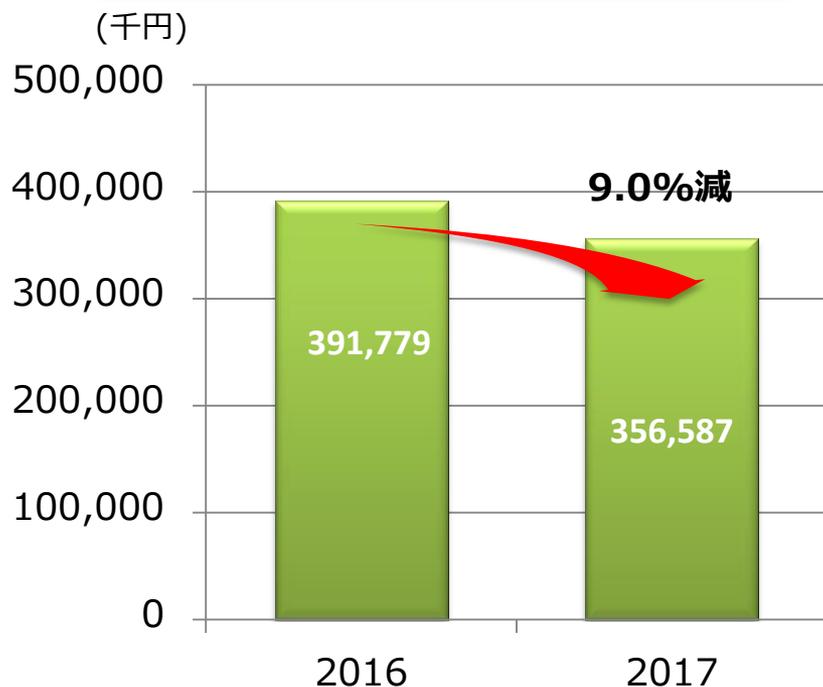
営業利益



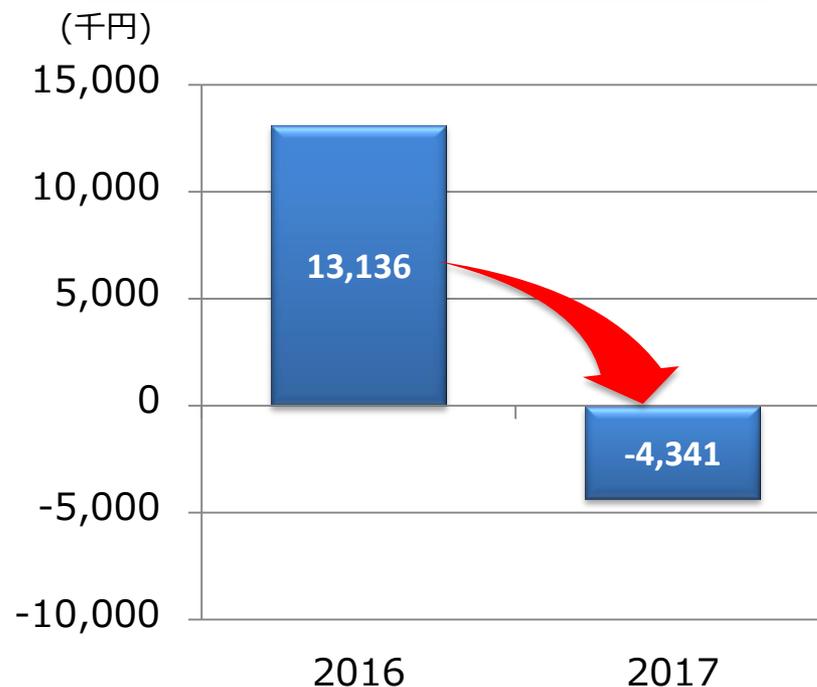
先端医療事業

- 大口案件獲得不調及び新規サービス売上不調により前期比で大幅減収
- 事業拡大に向けた機器投資・増床コスト負担も重なり営業損失に転落

売上高



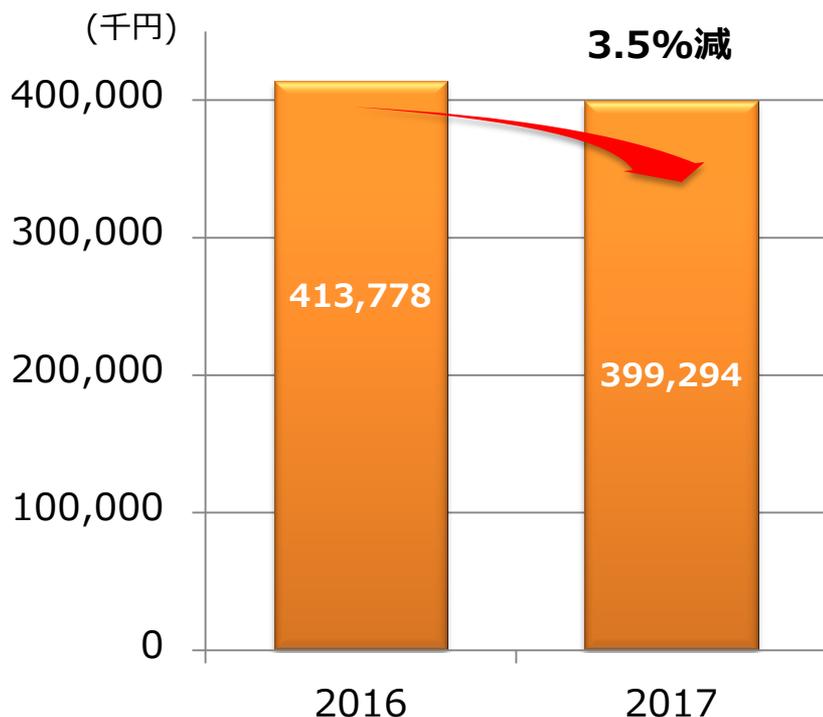
営業損益



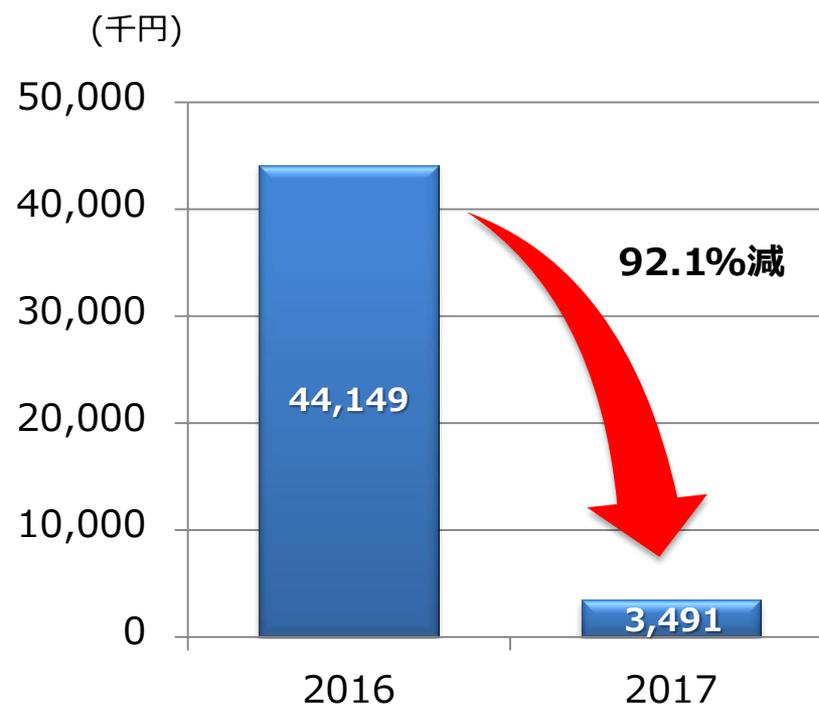
病理診断事業

- 高品質サービス体制維持により通常診断売上高は堅調に推移するも微減
- 自己採取HPV拡販開始で売上拡大図るも、医療機関導入遅延により減収
- 事業拡大に備えた先行投資（人員及び増床費用）により営業利益は大幅減益

売上高



営業利益





Ⅱ.2018年3月期 連結業績予想

2018年3月期 連結業績予想

好調事業はトレンド維持、不調事業は体制強化により営業利益拡大を予測
のれん償却消失 = 持分法損失圧縮の結果、経常損益、最終損益拡大を予測

単位：千円	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	前期比	補足説明
売上高	2,302,908	2,410,000	104.7%	
ジェノミクス事業	420,148	440,000	104.7%	増収トレンド実績を反映
CRO事業	1,150,505	1,220,000	106.0%	増収トレンド実績を反映
先端医療事業	356,587	350,000	98.2%	サービス見直しにより微減を予想
病理診断事業	399,294	425,000	106.4%	自己採取HPV検査拡大を見込む
本社・連結調整	▲23,626	▲25,000		
営業費用 (研究開発費)	2,148,960 (48,015)	2,210,000 (51,290)	102.8%	売上増加に対応
営業利益	153,948	200,000	129.9%	
経常利益	88,272	170,000	192.6%	持分法損失軽減により大幅拡大
親会社株主に帰属する 当期純利益	80,694	110,000	136.3%	



Ⅲ.事業トピックス・他

がんクリニカルシーケンスサービスの開始

先端医療事業部門の遺伝子解析技術を活かし、大手国内電機メーカーと協業で がんクリニカルシーケンス※サービスを6月開始予定

※がんクリニカルシーケンスとは、がん組織を次世代シーケンサー（NGS）で網羅的に解析し、得られた遺伝子変異情報をバイオインフォマティクス（蓄積された遺伝子情報）に基づいて分析して、治療方針を決定するための検査。

世界初の完結型NGSワークフローで安定したデータの提供

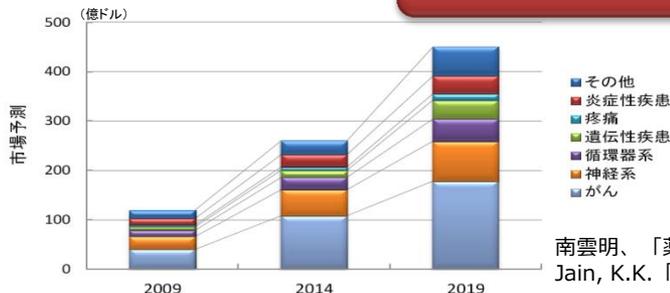
個別化医療の提供



- ✓ がん遺伝子※に特化した変異遺伝子パターンの情報
※肺がん、乳がん、卵巣がん、大腸がん、悪性黒色腫
対応するがん種と遺伝子数は順次拡大
- ✓ 検出された遺伝子変異に関連性のある薬剤および臨床試験の情報
- ✓ 15年以上にわたって培ったデータの蓄積と分析ノウハウ



個別化医療に係る事業での成長戦略推進



米国を中心に進んでいる個別化医療に関連した世界市場は、
09年の120億ドルから2019年には450億ドル

南雲明、「薬物治療における個別化医療の現状と展望」（2013年3月）
Jain, K.K. 「Personalized Medicine-Scientific and Commercial Aspects-」

中期経営Vision2017 総括

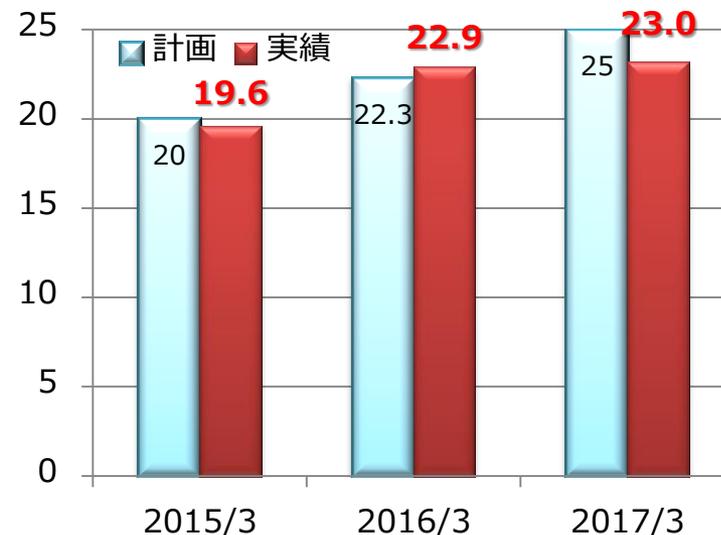
中期経営Vision2017 業績目標

連結	目標	実績	乖離
売上高	25億	23.0億	▲2.0億
営業利益	2.5億	1.5億	▲1.0億

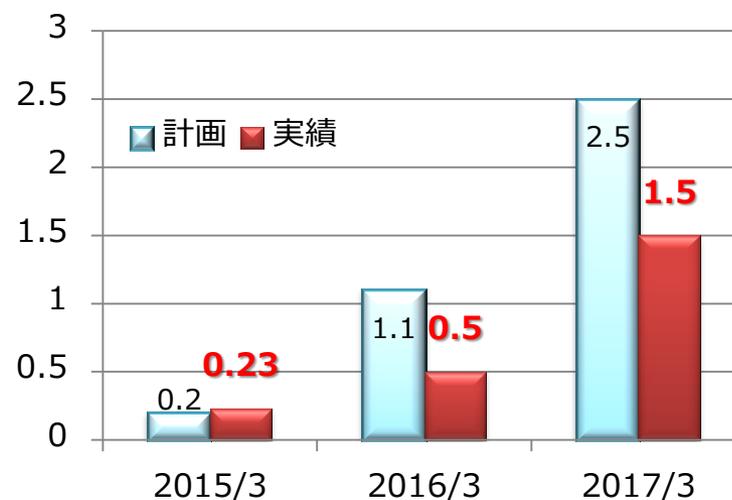
総括

- 目標の一つだった黒字体質転換は確立した。
- 増収トレンドは維持したが中期目標売上高には2億未達で終了した。また、売上未達により営業利益目標も1億未達で終了した。
- 重要経営目標である成長性維持のため、各事業セグメント3カ年実績の分析・検証が必要である。

億円（売上高推移表）



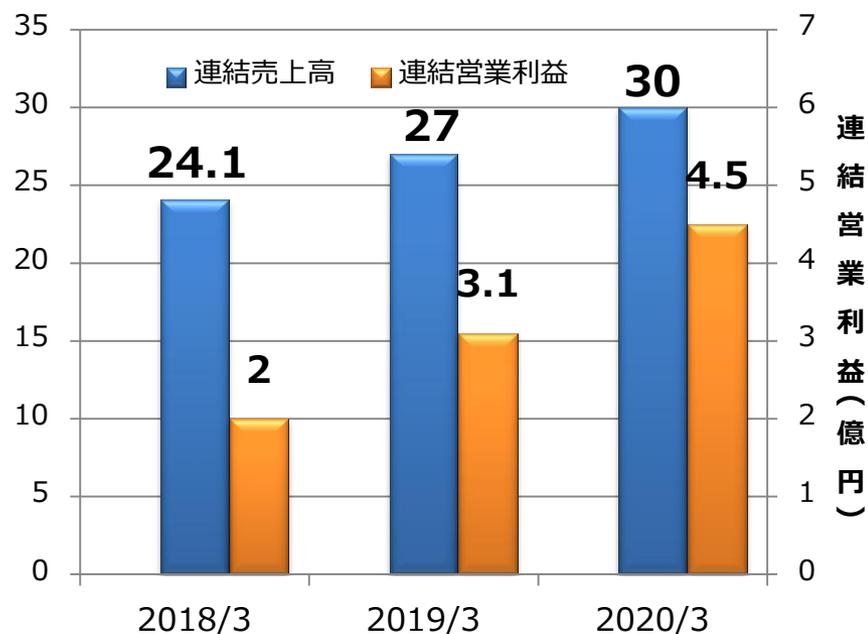
億円（営業利益推移表）



中期経営Vision2020 概要

業績目標 (2020年3月期)

○連結売上高 **30.0 億円**
○連結営業利益 **4.5 億円**



事業別売上	2018/3	2019/3	2020/3
ジェノミクス事業	4.4	4.8	5.2
CRO事業	12.2	13.6	14.6
先端医療事業	3.5	3.9	4.3
診断事業	4.25	5.0	6.2
連結相殺	▲0.25	▲0.30	▲0.30
連結売上合計	24.1	27.0	30.0

事業別営業利益	2018/3	2019/3	2020/3
ジェノミクス事業	0.9	1.1	1.45
CRO事業	2.6	3.35	3.5
先端医療事業	▲0.05	0	0.1
診断事業	0.3	0.45	1.25
管理・共通コスト	▲1.75	▲1.80	▲1.80
連結営業利益合計	2.0	3.1	4.5



IV. 研究開発状況

開発パイプライン状況：モデルマウス系統



開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬



短期

抗体製品の開発と応用

外部研究機関からの導入開発

日本、アジア7か国、欧州4か国で上市

中期

肝臓がんマーカー

アボット社

尿中がんマーカー

九州大学等

※中国企業での臨床試験実施中

上市に向け進行中
(国内診断薬メーカー)

膵がんマーカー

国立がんセンター

※(株)免疫生物研究所と共同研究
※中国企業と独占ライセンス契約締結

ライセンス先交渉中
追加データ蓄積中
測定キット販売中

泌尿器がんマーカー

順天堂大学

※中国企業と独占ライセンス契約締結

測定キット販売中

うつ病マーカー

産総研

測定キット販売準備中

卵胞機能マーカー

聖マリアンナ医大

抗体作製中

自己免疫疾患マーカー

医化学創薬

有用性検証中

乳がんマーカー

医化学創薬

有用性検証中

2016年

4月

GANP蛋白質の機能に関する論文が『Advances in Immunology』に掲載

酸化ストレス可視化マウスに関する特許が欧州にて成立

5月

ライフサイエンスワールド2016（第15回国際バイオテクノロジー展）に出展

7月

第39回日本神経科学大会に出展

酸化ストレス可視化マウスに関する特許が日本にて成立

尿中ジアセチルスペルミン濃度測定受託サービス開始※1

8月

cell free DNA (cfDNA) の受託解析サービス開始※1

9月

国内製薬企業との共同研究契約締結※2

国内バイオ企業との共同研究契約締結※2

11月

第39回日本分子生物学会年会に出展

12月

新規肺がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する特許が米国にて成立

2017年

1月

「ヒト化マウス」のオーストラリアにおける特許査定

2月

「ヒト化マウス」の韓国における特許査定

自己採取HPV検査サービス開始※3

3月

第90回日本薬理学会年会に出展※4

■ 共同研究
 ■ 特許
 ■ 製品・サービス
 ■ 学会・論文

当社グループ会社 ※1 ジェネティックラボ ※2 医化学創薬 ※3 プライミューン ※4 新薬リサーチセンター

当社の主要な特許の成立状況

マウス関連	臓器ヒト化マウス技術	『JP5899388』 日本にて成立	2016年 3月
	トラップマウス技術	『AU778719』 オーストラリアにて成立 『US7,312,075』 米国にて成立 『EP1201759』 欧州にて成立 『ZL00812904.5』 中国にて成立 『HK1048830B』 香港にて成立 『JP4664554』 日本にて成立 『ZL200510084464.6』 中国にて成立 『US8,722,408』 米国にて成立	2005年 4月 2007年12月 2010年 3月 2010年 6月 2010年12月 2011年 2月 2013年 4月 2014年 4月
バイオマーカー関連	GANP®マウス技術	『ZL2003801028324』 中国にて成立 『AU2003277620』 オーストラリアにて成立 『EP1559318』 欧州にて成立 『JP4426728』 日本にて成立 『KR941905』 韓国にて成立 『JP4478577』 日本にて成立 『US7,919,674』 米国にて成立 『ZL200710193915.9』 中国にて成立 『HK1124363B』 香港にて成立 『JP5080597』 日本にて成立	2008年 7月 2009年 2月 2009年 4月 2010年 1月 2010年 3月 2010年 4月 2011年 4月 2011年 9月 2011年12月 2012年 9月
	尿中がんマーカー： 尿サンプルによる 癌診断の測定系	『JP3816512』 日本にて成立 『US7,700,741』 米国にて成立 『JP4608432』 日本にて成立（早期がんの診断） 『US9134313』 米国にて成立（早期がんの診断）	2006年 6月 2010年 4月 2010年11月 2015年 9月
	膵がんマーカー： 抗体ならびにその診断応用	『JP4319700』 日本にて成立 『US8,883,972』 米国にて成立	2009年 6月 2014年11月
	新規胆管がんマーカー	『JP5716257』 日本にて成立	2015年 4月
	新規肺がんマーカー	『US9644026』 米国にて成立	2016年12月
	タンパク質高発現系技術	『JP5800176』 日本にて成立	2015年 9月



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<http://www.transgenic.co.jp>